

第1学年「みがく」学習指導案

授業者 山賀 愛

2月15日(土) 1階D室 9:00～9:40 (話し合い11:00～11:45)

1 題材名 自分たちの生活を自分たちで考える

2 題材について

4月の子どもたちは、小学校生活は初めてのことばかりである。そのため、教師は教室でのルールを最初に伝え、学級作りをすすめてくなくなってしまう。しかし私は、何でも教えてしまうのではなく、子どもたちとともにルールをつくりながら学級を作っていきたいと考えて今年度を始めることにした。子どもたちは日々「〇〇やってもいいですか。」「ファミリー(4人班)替えはしないのですか。」「日直はどんなことをしますか。」と聞いてきた。もちろん安全にかかわることや学校全体にかかわることは伝えるが、子どもから出た質問にすぐに答えるのではなく「あなた/みんなはどうしたいの?」と問い返すことで、学級の子どもたちの合意のもとに、ルールをつくるように意識してきた。

日々自分たちの生活にかかわることを話し合って決めてきたのだが、3学期に入り、自分の主張を強く出す子どもが増えてきた。これは自分の思いを出せるようになってきたとも捉えられ私としては嬉しく思う反面、自分の思いばかりが優先され、自分と違う意見の友達に対して強い口調になったり、責めるような言い方になったりしている現状に課題を感じた。そこで、一度立ち止まり、現状を子どもたち自身が受け止め、どうしたらよいか考えるために何か新しい投げかけをすることが必要であると考えた。そこで、集団や学校を一つの社会と見なしてお互いの関わり方を学び、実践していくオランダのピースフルスクールプログラムの「対立とけんかの違い」を参考に本題材を取り入れることにした。そうすることで、対立とけんかは違うことや対立することは悪いことではないが、お互いにどのように乗り越えて行けばよいかを知ること。さらに自分たちの生活の中で同じようなことはないかと経験を振り返り考えることで、自分たちでも解決方法を見つけ取り組んでみようとする姿勢を育んでいけるのではないかと考えている。また解決していく姿勢だけでなく、自分と違う意見であってもその友達の思いに関心を持ち、みんなが納得をしてルールを決め、一人一人が安心して生活できる環境にしていくことを考えることも大切にしていく。今回の話し合いを通して、子どもたちがより自分たちの生活を自分たちで考えていくようになることを期待している。

3 学習指導計画(1時間目/全5時間)

第1～2時: 対立とけんかについて考える…(本時/2時間)

第3～4時: 対立した時にどうすればよいかを考える

第5時: どうして対立したのか原因を探り、解決の方法を考える

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

- ・対立とけんかの違いに気づく。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 子どもたちの生活にある対立場面を擬似的に扱い、けんかとは違う場面の違いを考える。	・自分のこれまでの経験から具体的な場면을挙げながら話せるような対立場面を扱う。
2 対立した経験があるか自分をみつめ、なぜ対立が起きるのかを話し合う。	・対立が起きる原因を考えることで、自分のことだけを主張していたことに気づけるようにする。
3 ふり返りを行う。	

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

- ・子どもたちは対立とけんかの違いに気づくことができたか。